明日(あす)のより良い社会のために

ABC_CSR

活動報告 2020

朝日放送グループホールディングス株式会社

contents

01 トップメッセージ 02
サステナビリティ推進委員会の設置 03

02 朝日放送グループのCSR基本方針
CSRの基本的な考え方 04
グループCSR基本方針と行動指針策定プロセス 05
CSR行動指針とCSR重点目標 06
朝日放送グループのCSR基本方針とSDGｓ 07
CSR推進体制 08

03 特集
1.「SDGメディア・コンパクト」加盟 09
2.新型コロナウイルス感染症が変えた日常 12

04 明日の大人たちへ…
「エビシー教室～リモート授業～」開講 14
「SMILE at HOME ABCTV～#おうちで ABC テレビ～」 15
新たなCSR活動「おはなしの森」 16

05 明日の暮らしへ…
阪神淡路大震災の取材映像アーカイブ展開 17
台風、水害、地震…暮らしを襲った災害記録を公開！ 18
安全な暮らしの情報発信を実施 19
環境負荷低減への取り組み 20
環境のその他の取り組み 21

06 明日の文化へ…
コロナ禍の文化芸術活動を支援！ 22
人形浄瑠璃 文楽の上演配信プロジェクト 23
すべての人が「来て良かった」と思えるゴルフ場に 24
地域社会の一員として 25

07 基本となるCSRの取り組み
多様なステークホルダーに等しく情報を発信していくために 字幕・解説・手話放送 26
グループ全体でCSR意識を醸成 27
グループ各社の取り組み 28
グループ会社一覧 29

明日（あす）のより良い社会のために

編集方針

朝日放送グループは、2016年からCSR活動についての報告書「CSR活動報告 2015」を発行し、ステークホルダーの皆さまへの情報を開示して参りました。環境への配慮等を考慮し当初よりWEBサイトのみの報告にしています。2018年4月のホールディングス体制移行に伴い、2018年度版より本報告も報告の範囲を当社グループ全体のCSR活動に徐々に広げてお伝えしています。なお、報告内容は、多くのステークホルダーの皆さまの中で最も私たちの発信する情報と接点の深い放送番組やイベントなどのコンテンツを中心に、できるだけわかりやすく平易な表現での編集を目指しました。また、ESG視点では、環境面の一部、社会面での実践的CSR活動の取り組みを中心に掲載しています。人事・コンプライアンス・基本ガバナンス等の情報は、一部当社WEBサイトのIR情報ページに開示していますので参照ください。

会社概要・グループ概要（2021年3月31日現在）

名称	：朝日放送グループホールディングス株式会社
英文社名	：Asahi Broadcasting Group Holdings Corporation
代表者	：代表取締役社長 沖中 進
創立	：1951年3月15日
資本金	：52億9,980万円
上場証券取引所	：東京証券取引所市場第一部（証券コード9405）
事業内容	：認定放送持株会社
本社	：〒553-8503 大阪市福島区福島1丁目1番30号 06-6458-5321（代表）
東京オフィス	：〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目3番1号 日本生命浜松町クレアタワー18階
〈主な事業〉	
放送事業領域	：地上波放送（関西2府4県のテレビ・ラジオ）、CS放送
コンテンツ事業領域	：番組企画・制作、イベント企画・運営、通販、アニメ企画・プロデュース・制作、著作権ビジネス、ゲームアプリ制作、ファストエンタテインメント企画・制作、字幕・HP等デジタルコンテンツ制作、コンテンツ投資
ライフスタイル事業領域	：住宅展示場、ハウジング・デザイン・センター、マンション賃貸、不動産販売、ゴルフ場運営、グランピング企画・コンサルタント
グループ会社	：国内25社
従業員数	：1,456人（グループ連結）

情報開示体系：WEBサイト https://corp.asahi.co.jp/ja/

財務情報
- ●事業のご報告（株主通信）
- ●中期経営計画説明会資料
- ●決算説明会資料
- ●決算関連資料
  - ・有価証券報告書
  - ・決算短信
  - ・決算参考資料
- ●招集通知
- ●コーポレートレポート

非財務情報
- ●コーポレートガバナンス報告書
- ●CSR活動報告

ABCキャラクター
“エビシー”

https://www.asahi.co.jp/abciee/profile/

対象期間　2020年4月～2021年3月。一部必要と判断した情報については、この期間以外のものについても掲載しています。
対象会社　朝日放送グループの全社（グループ各社についてはP29を参照）
発行年月　2021年9月（次回発行2022年9月）

トップメッセージ

正しい報道は私たちの責務です。グループとして自ら主体となり、社会課題の解決に向け行動していきます。

朝日放送グループホールディングス株式会社
代表取締役社長 沖中進

今、社会は様々な課題に直面しています。少子高齢化、子供の貧困、大規模な自然災害、繰り返される紛争、そして、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延…。そうしたあらゆる社会課題について「正しく報道すること」は、公共の電波を預かる私たちの責務であり、メディアを中心とした事業を通して社会的責任を果たすことは、メーカーが商品を提供するのと同じように、ごく当たり前のことです。「事業として」だけでなく、「社会の一員として」私たち自身がどのように課題と向き合い、解決していくのか。そんな視座を持って行動することが重要だと考えています。

＊

朝日放送グループでは、約20年前から現在の当社のCSRにつながる活動を推進してきました。2000年にスタートした環境キャンペーン「ガラスの地球を救え」で環境保全の重要さを番組でお伝えするとともに、社員自身も山陰の浜辺で清掃活動をしたり、淀川の葦を刈って舟をつくるなど様々な取り組みを実践し、現在も地域の方々とともに自然観察会などを連綿と続けています。また2007年には、子どもたちが未来に対して明るい希望を持てるよう、全社横断的な「こども未来プロジェクト」を立ち上げました。

そうした長年の活動を経て2018年に策定した「朝日放送グループCSR基本方針」では、優先的に行う行動指針として、「子ども」「環境と暮らし」「文化」の３項目を重要課題としています。「子ども」に関しては、メディアリテラシーを身につけてもらうための「エビシー教室」を出前授業やリモート授業などの形で開講。「環境と暮らし」では、阪神淡路大震災や台風・水害等自然災害の取材映像アーカイブを公開するプロジェクトなど、防災・減災情報の発信に注力しています。また「文化」については、関西には京都や奈良など歴史ある地域が多く、華道や茶道をはじめ日本を代表する多様な文化や伝統芸能、また、神社仏閣などの多くの文化財があります。そういった歴史ある豊かな関西の文化を支え育み続ける活動も進めているところです。

01 トップメッセージ

女性活躍推進や働き方改革など朝日放送グループにおける社会課題に対してもより迅速に取り組んでいきます。

私たちグループは、2020年8月、持続可能な社会の実現に向けて、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟しました。正しく報道することは責務であると先述しましたが、SDGsの目標達成に貢献するのはもちろん、国の内外の人々に向け広く声掛けができるのはメディアならではの仕事です。

１年後の2021年8月には、そのSDGsなど社会課題解決の取り組みの加速と、ESG経営の推進に向けて、「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。今後はさらに、気候変動対応へのアクション、従業員の健康や労働環境への配慮などサステナビリティをめぐる様々な課題へ対応し、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上を目指して行きます。

「環境」課題に関しては、ペーパーレスや再生可能エネルギーの使用など環境負荷低減につながる取り組みなどまずは身近なところから迅速に進めなければならないと考えています。一方、「社会」課題に関しては、二つの視点を重視しています。

一つは「地域創生」です。『中期経営戦略2021-2025 NEW HOPE』においても「地域創生と社会課題の解決に資する事業の創造」を重点目標に掲げており、活動は2020年から開始しています。定期オンラインセミナーを開催し、どのようなネットワークをつくり、地域ニーズをどう拾い上げていくのか、関西をはじめ全国の自治体や観光業者と活発に議論を重ねています。また、コーポレートベンチャーキャピタル（ABCドリームベンチャーズ）が出資するスタートアップ企業とともに防災・減災や里山の保全・活用に取り組むなど、地域社会への貢献に向けた新たなチャレンジも始まっています。

そしてもう一つが、女性活躍推進や働き方改革などグループ内における課題の解決です。私たちグループも独自のバリューチェーンを持っており、その中ですべき事は多くあります。これまで以上に、これらを喫緊の経営課題と捉え迅速に取り組んでいきたいと考えています。

＊

最後に、「環境」「社会」共に大きく関わっている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がもたらすパンデミックは、深刻かつ新たな社会課題であり、その対応は私たちメディアの責務です。従業員をはじめすべてのステークホルダーの健康と命を守ることを最優先として、メディアがまずできることは、COVID-19がどんな災害でどんな病気なのかという多様な情報や意見を紹介することだと思います。不安や危機を煽り立てるのではなく、コロナ渦中およびコロナ後の社会について様々な議論をしていけるよう、メディアグループとして確かな情報発信を持続的に行っていきたいと考えます。

＊

朝日放送グループは、私たちを取り巻く「環境」や「社会」、そしてすべてのステークホルダーの皆さまあってのものです。従業員をはじめ地域社会、お客様、株主様のご理解とご協力なくして山積する社会課題を解決することはできません。持続的成長を目指し、皆さまとともに取り組みに邁進していきます。

サステナビリティ推進委員会の設置

朝日放送グループホールディングスは、2021年8月、中長期的な持続可能性（サステナビリティ）への対応をグループ全体で戦略的に推進していくため、サステナビリティ推進委員会を設置しました。
気候変動などの地球環境問題への配慮、人権の尊重、従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然環境災害等への危機管理など、サステナビリティをめぐる様々な課題へ対応し、社会および当社グループの事業活動の持続的成長と中長期的な企業価値向上の推進を行うとともに、当社グループのサステナビリティへの取り組みに関する、適切かつ効果的な情報開示を進めていきます。

【注力課題】
・ESG経営をグループ全社で横断的に推進します。
・SDGsなど社会課題解決への取り組みを加速します。
・グループ各社のサステナビリティ推進活動を総合的に把握し、各社の連携とシナジーを促進します。

【朝日放送グループ サステナビリティ推進体制】

委 員 長：ホールディングス社長
副委員長：ホールディングス副社長
委　　員：ホールディングス全執行役員、朝日放送ラジオ、スカイA、ABC開発、マッシュ 各代表等
事 務 局：総務局※、人事局、経営戦略局 ※幹事局

E 環境分科会 | グループ分科会 | S 社会分科会

委員会は、当社社長を委員長に、当社副社長（朝日放送テレビ社長）を副委員長とし、委員は当社執行役員およびグループの主要な事業会社の各代表取締役等で組織されます。委員会の実行推進役として、総務局・人事局・経営戦略局に設置した事務局（幹事は総務局）がサポートします。
また、委員会の傘下に、具体的施策の立案・実施を行う「環境分科会」「社会分科会」とグループ全社による「グループ分科会」を設置します。

02 朝日放送グループのCSR基本方針

私たち朝日放送グループは、様々なコンテンツを通じて
明日の生活をより幸せで豊かにするため、進化を続けます。

※「朝日放送グループCSR基本方針」は当社グループのCSRを推進するうえでの総合ビジョンです。

ABC 明日(あす)の大人(おとな)たちへ…

「明日の大人たちへ…」
―明日(あす)のより良い社会のために、
いま子どもたちへ出来ること―

※上記は、ABCグループのCSRの思いを表すCSRキャッチメッセージとロゴです。

3つの行動指針

P14

明日の大人たちへ…

詳細:https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/future.html

メディアとしての責任を果たし、子どもたちへより良い社会を手渡します

P17

明日の暮らしへ…

詳細:https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/society.html

地球環境と人の営みを大切にし、命と暮らしを守る情報を届けます

P22

明日の文化へ…

詳細:https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/culture.html

歴史ある関西の文化を支え、さらに豊かな文化を育み続けます

CSRの基本的な考え方

朝日放送グループCSRについての基本的な考え方

「朝日放送グループCSR基本方針」は、「メディアを中心としたABCグループの事業は『CSRそのもの』」という観点のもと、当社グループ各社が取り組んでいる本来の事業活動の中にある様々なCSR事例を再確認し、さらに発展させていくことを示しています。そして、それら本業を通じた活動が様々な社会課題の解決を図り、今後のABCグループと社会の持続的な成長につながっていくと考えています。

グループCSR基本方針と経営理念

私たち朝日放送グループは2018年4月のホールディングス体制移行に伴い、グループ一体となった新たなCSR体制の推進強化を掲げて、グループCSR基本方針を新たに策定しました。
世界共通の課題解決目標であるSDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連採択以来急激に社会で認知されるようになり、企業や投資の世界でもCSRやESG、CSVなどがより一層語られるようになってきました。そして今、“何のために企業活動をしているのか”、社会における「企業の存在価値(パーパス)」そのものが問われる時代となっています。企業の存在価値を映した「経営理念」と「CSR理念」は近づいてきています。
朝日放送グループの経営理念は以下の通りです。

朝日放送グループ経営理念

朝日放送グループは、変化に対応しながら進化を続け、強力な創造集団として、社会の発展に寄与する。

(≒CSR理念)

私たち朝日放送グループが掲げる経営理念は、変化する社会環境や社会課題に事業を通して対応し、企業と社会の持続的成長を意識した考え方であり、ABCグループが目指すCSR方針を導き出す基本となっています。

02 朝日放送グループのCSR基本方針
グループCSRの基本方針と行動指針策定プロセス

グループ CSR 基本方針と行動指針策定のプロセスとポイント

「朝日放送グループCSR基本方針」は、「メディアを中心としたABCグループの事業は『CSRそのもの』」という観点で策定されています。公共性を伴うメディアグループ事業で大事にしているのは信頼と責任です。この信頼と責任はCSR（企業の社会的責任）の要点でもあり、各事業がもつ本来の意味を確認することになり、CSRの基本となる行動指針を策定する起点となりました。

CSR「行動指針」策定の起点

◆ABCグループに存在するCSR事例（企業価値、多くのステークホルダーが触れる機会の多い放送やイベントなどを対象とした）を再確認、整理、言語化し、改めてステークホルダーに届けることが必要ではないか。

◆上記の作業は、ABCグループのすべての従業員が自社の活動を見つめ直す機会を生み出し、今後一層の自信と誇りを持って業務にあたる意識の源泉を引き出すことにつながるのではないか。

◆この一連のプロセスが、ABCグループが「持続的成長を続ける組織」であることの土台になるのではないか。

1 プロセスの前提：経営理念の求めるもの～戦略的CSRについて

経営理念が示す「時代と共に発生する様々な企業環境の変化に確実に対応」しながら、『戦略的CSR』（CSV）の視点で求めた社会課題とABCグループ独自の課題に対応し、社会と企業の双方により大きなメリットをもたらす活動に集中することを目指しています。

2 すでにある CSR 事例の抽出と当社らしさの再発見

これまでにあるCSR的意味合いの高い番組やイベント等の事例を抽出、整理、言語化するための社内リサーチを実施。特に、ABCが長い歴史の中で築き大切にしてきた「当社らしさ」をポイントにして、グループ会社すべての代表と面談によるコミュニケーションを実施し、グループ内でのヒアリングなど対話を重ねました。

3 リサーチ結果とキーワードの抽出

ABCの課題、社会にとっての課題の両方を満たし、かつ視聴者やリスナーを中心とした多くのステークホルダーから期待される要素は何か、キーワードを抽出し、浮かび上がったのは、番組や取り組みなどに共有される、以下の3つでした。

「子ども」　「環境と暮らし」　「文化」

その後、グループのCSRとして優先的に取り組む重要課題をこの3項目に絞り込み、それらに対する当社グループの考えや思いを「朝日放送グループCSR基本方針」および「行動指針」としてまとめました。

グループ各社との対話

02 朝日放送グループのCSR基本方針
CSR行動指針とCSR重点目標

ABCと社会共有の課題 ～3つのキーワードから～

3つのキーワードと、ABCグループと社会の共有の課題から導き出された、当社の事業優先事項を「行動指針」としてまとめました。

行動指針

◆明日の大人たちへ…
メディアとしての責任を果たし、子どもたちへより良い社会を手渡します

◆明日の暮らしへ…
地球環境と人の営みを大切にし、命と暮らしを守る情報を届けます

◆明日の文化へ…
歴史ある関西の文化を支え、さらに豊かな文化を育み続けます

「子ども」

少子化・貧困・いじめ・虐待・自殺・犯罪の若年化など、次世代を担う子どもや青少年を取り巻く多くの課題が横たわる時代。加えて、SNS等ネットメディアの浸透、さらに今後はAIやフェイクニュースなど、複雑化する情報社会に直面する中、メディア企業グループとして、明日のより良い社会のために、今子どもたちへどのような情報を発信していくのか…。私たちの最も重要な課題と捉えています。

「環境と暮らし」

台風、豪雨、大地震など近年頻発する大規模自然災害。感染症のまん延も新たに対応を迫られている自然災害のひとつです。南海トラフ地震、都市型大地震はもはや避けられず、社会一体となった防災・減災の取り組みが求められ、かつ地球温暖化を食い止める企業活動や暮らしの変革も喫緊の課題です。メディア企業グループとして、今後さらに地球環境と人の営みを大切にし、命と暮らしを守る情報を確実に届けていきます。

「文化」

私たちの住む関西は、歴史ある神社仏閣や伝統芸能など世界に誇る多様な日本文化の宝庫です。インバウンドの増加や情報グローバル化が進む今、これらを大切に守り、またその姿を正しく国の内外に伝えることが重要です。有形無形の文化財の正しい情報発信や、放送・イベント等による生活に喜びと豊かさをもたらす地域文化や芸術活動の振興、さらにスポーツ健康文化の維持活性化に一層取り組みます。

新しい社会課題「感染症」と対応について

新型コロナウイルス感染症がもたらす社会環境の変化に伴って、「朝日放送グループCSR基本方針」と「行動指針」の内容に照らし、新しい社会課題、および必要な対応が発生しています。現時点での課題対応についてグループで共有し、課題対応・解決の要点としています（2020年5月グループ共有）。

明日の大人たちへ…
メディアとしての責任を果たし、子どもたちへより良い社会を手渡します

インフォデミック対応（メディアリテラシーの強化）

●デジタルコミュニケーションに伴う「フェイク情報」接触機会の増大がもたらす「インフォデミック」対応
●年齢や世代を問わない「メディアリテラシーの強化」

明日の暮らしへ…
地球環境と人の営みを大切にし、命と暮らしを守る情報を届けます

「命と暮らしを守る」情報発信の強化・支援

●報道機能の強化支援
●従業員の命と暮らし（安全、安心、健康）の確保

自然災害の一種「生物災害」としての「感染症」対応

●「自然災害」３種
①「気象災害」（台風や豪雨）②「地質災害」（地震や噴火）
③感染症の流行まん延等の「生物災害」の再認識と対応
●「生物災害」の特徴は、デマ（フェイク）や差別等人権問題が発生する点

明日の文化へ…
歴史ある関西の文化を支え、さらに豊かな文化を育み続けます

ヘルスリテラシー
（ストレスや不安等を補う情報発信と健康文化の形成）

●心身の健康を保つ「癒し」「お笑い芸能」「スポーツ健康文化」等の情報発信・ライフスタイル創出

心を救う芸術・文化への理解や支援

●活動機会を失った芸術家や文化団体や施設、公演などの支援、イノベーションによるデジタル配信等

朝日放送グループは、CSR基本方針（行動指針）に沿って年度ごとの重点目標を決めて推進活動の注力ポイントとしています。

2020年度グループCSR重点目標

重点目標❶ 土台作り

グループ各社は、さらにパートナーシップを発揮し、「朝日放送グループCSR方針」と、キャッチメッセージ「明日の大人たちへ…」に基づいた活動の浸透と盛り上げを図る。

重点目標❷ 命と暮らしを守る情報発信と取り組み

近年の大規模自然災害の頻発に鑑み、「明日の暮らしへ…」で示す「地球環境と人の営みを大切にし、命と暮らしを守る情報を届けます」に、より注力する。

02 朝日放送グループのCSR基本方針
朝日放送グループのCSR基本方針とSDGs

CSR基本方針とSDGs

朝日放送グループのCSR方針は、グループの経営理念を基本としており、持続可能な社会を実現するための私たちの決意を表明したものです。そして、メディア企業グループとして、事業を通したCSR活動の推進により、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に貢献していきます。

国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟

2020年8月、朝日放送グループは「SDGメディア・コンパクト」に加盟しました。放送やイベント等を中心としたグループ各事業を通じて、SDGsの存在やその内容を社会に広くわかりやすく伝えていきます。また、グループ自身のCSR活動を深めることで、17目標の達成に貢献していきます。

SDGsと朝日放送グループについて

https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/sdgs.html

SDG MEDIA COMPACT

CSR行動指針とSDGsの関係

当社のCSR基本方針のもとで優先的に行いたい領域を示したものが3つの「行動指針」（マテリアリティ）です。この行動指針に沿った活動により社会課題の解決を図ることで、同時に、その先にある世界共通の目標であるSDGsへの貢献を果たしていきたいと考えています。とりわけ、メディア企業グループの責任として、SDGsの理念や目標などその内容を広くわかりやすく伝えることが重要だと考えています。

「行動指針」の各活動と関連する主なSDGs目標

明日の大人たちへ…

メディアとしての責任を果たし、
子どもたちへより良い社会を手渡します

- ■子どもたちが将来社会に希望を持てる放送や取り組みなど
- ■様々な社会課題についての報道
- ■情報社会の複雑化など子ども・青少年の環境変化に対応する活動　など

明日の暮らしへ…

地球環境と人の営みを大切にし、
命と暮らしを守る情報を届けます

- ■自然災害発生時の迅速な報道と、防災減災情報発信
- ■従業員をはじめすべてのステークホルダーの命と健康を守る
- ■廃棄物のリサイクル促進
- ■太陽光発電やイベント啓発で地球環境保全　など

明日の文化へ…

歴史ある関西の文化を支え、
さらに豊かな文化を育み続けます

- ■有形無形の文化財情報を広く伝え関西文化を支える
- ■心身に豊かさを与えるお笑い芸能、芸術やスポーツ健康文化の支援・振興
- ■地域文化の活性化や賑わい創出の取り組み　など

2020年度の関連する取り組み

※はコロナ禍で開催休止を余儀なくされました。

明日の大人たちへ…

ニュース情報/「エビシー教室　出前授業・社内授業・リモート授業」/TABLE FOR TWO（テーブルフォートゥー）/「おはなしの森」/アナ福祉施設訪問※　ほか

エビシー教室～リモート授業～　詳細は P14

明日の暮らしへ…

防災減災情報発信や取り組み/リサイクル推進/太陽光発電/「みんなの木」など環境保全取り組み・啓蒙活動※　ほか

震災アーカイブバーチャルツアー　詳細は P17

明日の文化へ…

地域文化支援イベント/文化財番組/メセナ活動/スポーツ健康文化支援　ほか

「浪曲」配信ほか文化芸術支援　詳細は P22

02 朝日放送グループのCSR基本方針
CSR推進体制

CSR推進体制

朝日放送グループは、企業価値の持続的な向上には、社会の様々な課題に積極的に対応することが必要だと考え、2018年度秋に「朝日放送グループCSR基本方針」を新たに策定し、その推進の仕組みや体制を整えました。グループホールディングス執行役員会の諮問会議としてCSR（総務）担当取締役を議長とする「グループ戦略CSR会議」を設置し、年度ごとに優先的に取り組む重点目標やCSRアクションプランの審議や決定を行っています。あわせて、その下部に実務を担う「CSRワーキンググループ会議」を設置しました。

このCSRワーキンググループ会議は、当社グループのCSR事業をさらに推進するためグループ各社各現場より選出されたメンバーが集まり、アイデアや意見の交換、各社の活動内容を報告してグループ間での情報共有を図るなど、グループ全体のCSRの意識の醸成や土台作り、具体的推進アクションの計画など重要な役割を担っています。

2021年8月、このCSR推進体制をさらに発展させる「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。委員会および体制の概要についてはP3を参照してください。

朝日放送グループホールディングス 執行役員会（諮問）

朝日放送グループ戦略CSR会議

会議参加：
朝日放送グループホールディングス／朝日放送テレビ／朝日放送ラジオ／スカイA／エー・ビー・シー開発／マッシュ

▲グループ戦略CSR会議（2020年11月開催）

…事務局：グループホールディングス社 総務局

CSRワーキンググループ会議

会議参加：
朝日放送グループ全社
（一部のグループ会社を除く）

▲CSRワーキンググループ会議（2021年2月開催）

年間の推進基本スケジュール

- **3月** グループ戦略CSR会議
  年度総括と次年度重点目標に沿ったアクションプランの承認
- **4月** CSRワーキンググループ会議
  アクションプランの詳細共有や打合せ
- **期中** 様々な活動および、グループ内浸透を図る「勉強会」「研修」などを実施
- **10月** CSRワーキンググループ会議
  活動状況の進捗報告、進捗を反映した年度重点目標方向付け
- **11月** グループ戦略CSR会議
  年度活動中間進捗チェックと、チェック反映「次年度重点目標」決定
- **2月** CSRワーキンググループ会議
  次年度重点目標アクションプランの一次案共有、改善調整

経営理念とCSRの関係

当社グループのCSRは、コンプライアンス等ガバナンスをはじめとした「基本的CSR」の実践を前提とし、「朝日放送グループCSR基本方針」に従い、本業を通した社会課題解決を目指すことで当社グループと社会の持続的発展・成長に貢献することです。
CSRの取り組みの先に、経営理念やミッション実現のための中期経営計画（2021年度より中期経営戦略）などがあります。CSRの取り組みの基礎となるのは、各事業を支える従業員一人ひとりのCSRマインドや意識の醸成といった土台作りです。また、当社グループCSRの精神は「朝日放送信条」にその礎を見ることができ現在でも社内に掲げられています。

朝日放送信条
（1966年に当時の朝日放送が設けた信条。グループのDNA精神）

- 一、平和と自由の精神を貫き、地域社会と文化の向上につくす。
- 一、進歩と寛容の理念により、品位と責任を重んじ、社会の信頼にこたえる。
- 一、報道と評論は常に中正な立場に立って、真実を正しく敏速に伝える。
- 一、番組は良識と知性を高めつつ、楽しさとやすらぎを与える。
- 一、広告は誇張を排し、清新な創意によって産業の発展を期する。

03 第1特集「SDGメディア・コンパクト」加盟

SDGsをわかりやすく広める放送や関連事業などで、
朝日放送グループのCSR促進をさらに加速させます。

2020

国連SDGメディア・コンパクト加盟合意書

署名する 朝日放送グループホールディングスの沖中社長

朝日放送グループホールディングス株式会社は、2020年8月28日、グローバルな社会課題の解決を目指す「SDGs」について、国連が世界の報道機関に対し協力を呼び掛けている「SDGメディア・コンパクト」に加盟しました。ABCテレビ・ABCラジオ・スカイA各社をはじめとする朝日放送グループ全社が加盟したことになります。
この加盟を機に、SDGs達成のためのコンテンツ制作や放送などを通じたグループCSRで、時代に即した社会課題解決を図る事業をさらに加速していく方針です。

加盟の目的とアクション概要

メディアを中心とした企業グループとして、世界規模での多様な社会課題の解決に貢献したいと考え、放送番組やイベント等をはじめとした様々なコンテンツを通じて、SDGsの存在やその内容を社会に広くわかりやすく伝えていきます。
加盟により朝日放送グループ自身のCSR活動を深めるために、SDGsの17目標に対して私たちがさらに貢献できることを考え、取り組みを進めていきます。

加盟にあたって

SDGsの浸透や普及が急がれる背景には、国際社会が直面している様々な社会課題やリスクに対応するためには、日本を含む世界中が経済優先の価値観や事業などをいち早く持続可能な方向へ転換していかなければ手遅れになるという「危機感」があると思っています。
自然災害・気候変動や貧困・飢餓、人権問題などの課題の多くは、市民社会の暮らしなどと強く連動していますが、新型コロナウイルス感染症によって、目標達成が遠のいたとの声もあり、今まで以上にメディアの力が必要とされています。事態は深刻ですが、ほかのセクターの情報発信より一層期待されている私たちメディアならではの「わかりやすさ」や、時には「楽しさ」も伴う発信や様々なアクションを続けていき、そして自身の企業としての振る舞いも見直していく機会と捉え、「行動」したいと考えています。　（CSR推進部）

03 第1特集「SDGメディア・コンパクト」加盟
メディアの力でSDGsの普及、活性化を促進

朝日放送テレビ

SDGsキャンペーン企画「アスミライプロジェクト」でSDGsを伝える

アスミライ

https://www.asahi.co.jp/asumirai/

https://www.youtube.com/playlist?list=PLDWEaMbBmVym9R9SR5B-7ZOzKYRAXkTiJ

2021年3月、朝日放送テレビ(ABCテレビ)は「アスミライプロジェクト」をスタートしました。
2025年大阪・関西万博、さらにその先の未来に向け、「そもそもSDGsとは何？」からスタートし、一人でも多くの視聴者とともに「気づき」を得て、SDGsへの理解の輪を広げていくことを目指したものです。
3月15日から28日までの2週間を「アスミライWeek」とし、期間中には特別番組を放送したり、レギュラー放送しているニュース、情報、バラエティ番組それぞれの中で、SDGsに関連する関西の出来事を紹介したりと、その課題について考える番組コーナーを展開しました。
ABCテレビは今後も、「放送」を通じて日々の暮らしの中で「気づき」を重ねて、根づかせて、SDGsの目標すべてにアプローチしていきます。

あすを、きょうより素晴らしく。
SDGs × アスミライ

アスミライ…あすを、きょうより(少しだけ)素晴らしく。

特別番組での取り組み

3月27日 特別番組「アスミライ～笑って学べるSDGs」を放送

アスミライ ～笑って学べるSDGs～

SDGsっていったい何だろう？　全国の一般の人から企業まで、SDGsに取り組む人たちをレポートするなど、子どもから大人まで楽しく一緒に考え、学ぶ番組となりました。

詳細は、https://www.asahi.co.jp/sp/asumirai/

3月15～18日 3月22～25日 放送特別ミニ番組「ミニミニSDGs ♡」SDGsの疑問を2分で解決!?

企業の意外なSDGsへの取り組み、お笑い芸人によるSDGsネタやプチクイズなどでSDGsをわかりやすく楽しく紹介しました。

従業員コメント

ABCテレビ

アスミライ事務局 堤 万樹子
(20年度：ABCテレビ 総合編成局編成部 現事業局イベント事業部)

SDGs・17のゴールは大変幅広く、困難な目標ですが、メディアとしてキックオフすることができました。2025年に万博が開催される大阪の放送局として、今後も社会課題に取り組む人、社会、企業とともにSDGsの輪を広げる活動を継続していきます。

03 第１特集「SDGメディア・コンパクト」加盟
メディアの力でSDGsの普及、活性化を促進

朝日放送テレビ
朝日放送ラジオ

「アスミライプロジェクト」期間中のレギュラー番組・その他番組での取り組み

レギュラー番組

朝の情報番組
「おはよう朝日です」
「おはよう朝日 土曜日です」

企画コーナーでは、教育、リサイクル、テクノロジーのSDGs関連事項を取材し放送。
日替わりのクイズを1日1題出題するコーナー「おきたらんど」ではSDGsクイズなどを放送しました。

「おきたらんど」クイズ～SDGsバージョン～
放送日：3/15（月）～3/19（金）・3/22（月）～3/26（金）

夕方のニュース番組「キャスト」
SDGs関連の出来事などを取材。スタジオでは番組独自の視点でSDGsを考えました。

●「大阪湾のアナゴ」
地球温暖化で大阪湾のアナゴが激減。
現状と未来への対策は？
●「行き場のない外国人の苦悩」
国を逃れ難民認定を求める外国人たちの支援活動に密着
●「道の駅ホテル」
道の駅に隣接した宿泊施設を拠点に、観光資源を掘り起こす取り組みを取材
●「パパがある日ママに」
４人家族に起きた突然の出来事。苦悩と葛藤を通じ多様性のある社会を考える
●「ごみ捨て場に隣接されたホテル」
リサイクル率８割を超える小さな町が描く未来とは

ほか

「キャスト」で取り上げた、SDGs関連の出来事

その他の番組

3月24日放送
ナイトinナイト
「今ちゃんの『実は…』」
バイオマスecoカップを容器に地元食材オンリーのカップ麺を作る！

3月27日放送
「LIFE～夢のカタチ～」
徳島県神山町の「フードハブ・プロジェクト」を紹介。

これらの特別番組やレギュラー情報番組で放送したVTRの一部はWEBサイト「アスミライ」でアーカイブ配信しています。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLPet0tQY6vAFCX4U6yIF1QfbP2kM0yTGX

ABCラジオで「SDGs」メッセージCMのシリーズ放送
（AM 1008kHz／FM 93.3MHz）

「SDGs」について、より広く多くのリスナーへ理解促進を図るためのラジオCMを放送しています。「ラジオ」のインタラクティブかつパーソナルなメディアであるという特性を活かしたシリーズメッセージの発信です。

①“第１弾”（2020年12月～2月）
「誰一人取り残さない」という「SDGs」の理念を訴える放送20秒スポット

②“第２弾”（2021年3月～）
「SDGs」の17の目標（ゴール）それぞれについての「シリーズCM」放送20秒スポット
（ナレーション：武田和歌子アナウンサー）
ゴール1「貧困をなくそう」篇 20秒
ゴール2「飢餓をゼロに」篇 20秒
ゴール3「すべての人に健康と福祉を」篇 20秒
※現在も17番目の「ゴール」に到達するまで、目標ごとに順次放送しています。

ABCラジオ https://www.abc1008.com/

03

第2特集 新型コロナウイルス感染症が変えた日常

コロナ禍が変えたニュース現場での対応

報道局ニュース情報センター
「キャスト」チーフプロデューサー 山田 浩仁

ドア開放のサブとサブ調整室の様子。
パーティション仕切りの報道制作現場。

新型コロナウイルスによって、ニュース情報番組の制作現場のあり方も様々な変貌を迫られました。コロナ禍の番組作りで、最も神経をとがらせてきたのは「毎日の放送を継続できる態勢作り」と「番組内で感染を広げないこと」です。私たちニュース情報番組は、日々アップデートされる情報を社会に届けることが使命です。そのためには、放送を継続していくことが何より重要と考えました。

第一波に襲われた2020年4月、出演するアナウンサーを2班に分け、出演する曜日を分けました。万が一、出演者の中で感染が広がっても番組を継続するための方策で、3カ月ほど続きました。また、東京から来阪して出演するコメンテーターの方々には、当初は出演を見合わせていただきましたが、リモート環境を整え、リモート出演していただくようになりました。スタジオの大きなモニターにコメンテーターの方が映り、他の出演者とやり取りする様子は、様々なテレビ番組ですっかりおなじみになったと思います。コロナ禍での一番わかりやすいテレビ番組の変化かもしれません。

第一波以降も、スタジオでの密を避けるためと、人流を減らすために、東京からのコメンテーターの出演については、リモートにするのか、来阪していただくのか、柔軟に判断しています。打合せ室やスタッフが働くオフィススペースにパーティションを設置したり、会議室を臨時の作業スペースとして拡張したり、リモートワークが可能なスタッフには、リモートで働いてもらったりと、職場が密になる環境をできるだけ避ける取り組みも進めています。緊急事態宣言が発令されたエリア以外の災害現場などへ取材に入るスタッフは、事前にPCR検査で陰性であることを確認するなど、スタッフが感染源にならないための取り組みも進めています。新型コロナウイルスは未知な部分が多く、日々対策を進めながら、視聴者の皆さまに有意義な情報提供ができるように、試行錯誤を続けています。

朝日放送テレビ

キャスト
月～金 夕方3:45～7:00

https://www.asahi.co.jp/cast/

従業員コメント

ABCテレビ

ABCテレビ
アナウンサー
「キャスト」
メインキャスター
上田 剛彦

ステイホームの影響で全体視聴率が上がりました。メディア、特にテレビから情報を得ようとする人が多くなりました。番組を通して、正確な情報を誤解なく伝えるにはどうすればいいか、言葉の持つ力をこれまでよりも考えました。「てにをは」や文字数、語句はもちろんのこと、表情やスピード、音の高低も含めて、誰にニュースを伝えているか、より「顔」の見えるニュースの作り方と読み方を心がけました。そしてそれは今も続いています。

03 第2特集 新型コロナウイルス感染症が変えた日常
テレワークで変わる今後の働き方

「東京2020オリンピック」開催に向けて、東京支社で3月から一部テスト運用を始めていたテレワーク※は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月には、全社一斉の本格運用となりました。緊急事態宣言の発令、まん延防止等重点措置の適用と行政の対応が目まぐるしく変わる中、その時々の状況に応じて出社の割合を制限するなどして、従業員の感染防止に努めました。同時に、「アフターコロナ」を見据えた新しい働き方の一つとしてテレワークを捉え直し、今後も積極的に推進していきます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対応も含め、職場環境の改善や働き方改革などに役立てるため、「PC業務アンケート」(全3回、総務局実施)、「従業員満足度(ES)調査」(人事局)といった、従業員対象のアンケートを実施しました。

6月には、人事局により「テレワーク勤務に関するアンケート調査」を実施。「通勤時間が有効に使える」「メリハリをつけることで集中力がアップした」など、一定の成果が得られました。一方で、「対面でないとニュアンスが伝わりにくい」といったコミュニケーションの不足や、「雑談レベルの情報共有が少なくなった」という組織の一体感の低下や孤立感など、解決すべき課題もでてきました。

今後は、従来の仕事のあり方や進め方にとどまることなく、社員自らがテレワークを採り入れた最適な働き方を選択し、自律的でクリエイティブな働き方を創造していくことが大切だと考えています。

※ 朝日放送グループは、「東京オリンピック・パラリンピック」開催時の安全・円滑な輸送サービスの提供と、都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的にした「2020TDM推進プロジェクト」に参加しています。 https://2020tdm.tokyo/

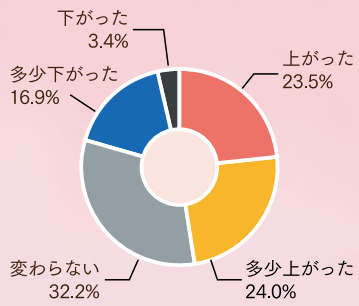
テレワークを行ううえでのポイント、気を付けるべき点などを、「テレワークマガジン」という形で全従業員に向けて定期的に発信しました。今後も、従業員の働きやすさを意識した取り組みを継続的に行っていきます。

従業員コメント
ABCテレビ
人事部
澤野井 信宏

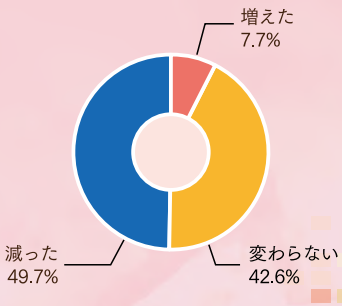
テレワーク勤務に関するアンケート調査

【調査期間】2020年6月26日(金)～7月1日(水)
【目　的】テレワーク本格導入に向けて実態を把握し、今後の運用を考えていく上での参考とする
【調査対象】朝日放送グループホールディングス、朝日放送テレビのライン部長、およびライン部長以外の正社員、常勤嘱託社員、契約社員、シニアスタッフ
※アンケート結果内では、ライン部長以外の回答を「一般」と表記し掲載。
※調査形式:Googleフォーム利用
【回収状況】ライン部長回収数29、ライン部長以外回収数184

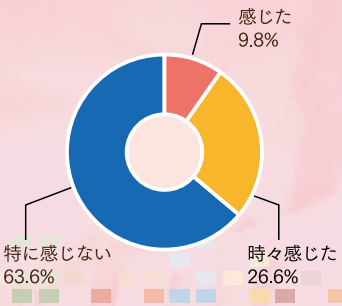
[業務効率]
Q ご自身の仕事の生産性や能率は上がりましたか?
回答:一般183



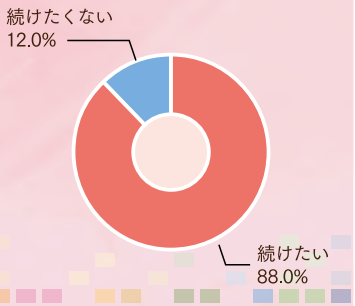
[コミュニケーション-1]
Q 上司とのコミュニケーションは出社時と比較してどうでしたか?
回答:一般183



[コミュニケーション-2]
Q 上司とのコミュニケーションにおいて、対面でできないことに不都合を感じましたか?
回答:一般184



[継続意向]
Q テレワークを今後も続けたいと思いますか?
回答:一般184



04

明日の大人たちへ・・・

エビシー教室

出前授業
社内授業
リモート授業

「エビシー教室～リモート授業～」開講

朝日放送グループホールディングス

番組メイキング映像などをもとに放送の裏側などを学ぶ「エビシー教室」

情報リテラシー教育支援として放送への親しみや理解を深めてもらう「エビシー教室～出前授業～」「エビシー教室～社内授業～」は、2011年から実施し、多数の子どもたちやエリア市民に親しまれてきました。2020年２月からは新型コロナウイルス感染症発生に伴い、授業の中断を余儀なくされていましたが、「子どもたちの学びの場をなくしてはならない！」という想いから、9月に第3の「エビシー教室～リモート授業～」を新たに開講しました。

新型コロナウイルス感染症対策が転機となり、新たな取り組み「リモート授業」を開始

2020年9月、最初のリモート授業を受講したのは、大阪府立芦間高等学校1年生4名の生徒の皆さん。「産業社会と人間」という授業の一環です。本来なら生徒の皆さんが直接企業や団体にアポをとり訪問し取材するところ、コロナ禍ではメールやFAXでの質問に答えてもらう形で実施しているとのこと。「リモート授業」はぴったりです。まずはABCの歴史や放送局の社会的役割を説明し、次に『「おはよう朝日です」のウラ側』をVTRで紹介しました。そして番組プロデューサーにリモート取材です。「放送の仕事に就いた最大の理由」「放送の仕事のやりがいや喜び、苦労や悩み」「社会人になるために身につけておくべきこと」などの質問が矢継ぎ早に。最後は、簡易カメラを使って、実際のスタジオや副調整室をバーチャル見学しました。「直接、顔を見ながらお話が出来たのが嬉しかった」という生徒の皆さんからの言葉が印象的でした。

対象　近畿の小学校高学年以上（グループ単位）
実施回数　2回（2020年度）

https://www.asahi.co.jp/kodomo/abciee/

対面形式の「出前授業」も行うなど、さらなる放送事業の理解促進へ

今後も、遠隔授業を実施するなど、参加ステークホルダーの方々の健康や安全にも配慮しながら、放送事業理解の機会提供を継続していきます。なお、「エビシー教室～出前授業～」（対面授業）については、感染拡大状況を見ながら、2021年2月に受付を再開し、3月に和泉市立芦部小学校5年生の生徒117名の皆さんが受講しました。テーマは、『ニュース情報番組「おはよう朝日です」の作り方、「放送番組」を見てもらう工夫や仕事』でした。

従業員コメント

ABC

CSR推進部　福田 正朝

コロナ禍でたくさんの学校行事が中止や延期になったと聞きました。この「エビシー教室」が、少しでも彼らの良い“思い出”になってくれることを願っています。

04 明日の大人たちへ…
「SMILE at HOME ABCTV ～#おうちで ABC テレビ～」

朝日放送テレビ

※動画配信は終了しました。

子どもたちの笑顔のため、家にいながら笑顔になれる WEB サイトを一時的に開設

コロナ禍が社会を席巻し、自宅で過ごす時間が増えている状況となった2020年4月、家にいながら笑顔になれるWEBサイト「SMILE at HOME ABCTV ～#おうちで ABC テレビ～」を朝日放送テレビ（ABCテレビ）が開設しました。報道情報番組「おはよう朝日です」やニュース番組「キャスト」や、当時放送25周年を迎えた「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」などで、これまでに放送した中から、子どもたちを中心に家族みんながおうちの中で笑顔になれる企画を選び、「あそぶ」「つくる」「たべる」「まなぶ」のカテゴリーに分けて配信し、暮らしのアイデアを紹介する国内最大級の動画メディア「Onnela（オンネラ）」からも、役立つ動画を配信しました。
現在このWEBサイトは閉鎖していますが、当時の動画の一部は「アスミライ」「ABCテレビ公式Youtubeチャンネル」に移行し、視聴することができます。

期間限定で開設したこのWEBサイトは閉鎖し、
現在は「アスミライ」サイトで様々な動画を配信しています。

https://www.asahi.co.jp/asumirai/

全国の小・中学校向け教育教材「おしごと年鑑」※の制作で情報リテラシー支援

当社グループでは、メディアの責任として「情報リテラシー活動」や様々な「教育現場への支援事業」を行っています。しかし新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基本事業の「エビシー教室」などは、思うような活動ができない状況が続いています。そこで、朝日新聞社発行のキャリア教育教材「おしごと年鑑2021」への制作協力を行い、当グループの放送事業を通して『朝の情報番組はどうつくられているの？』（ABCテレビ「おはよう朝日です」協力）というテーマで、「放送のおしごと」についてわかりやすく掲載しました。
多くの企業が、新型コロナウイルス感染拡大により工場見学や企業博物館などの休業を強いられ、キャリア教育分野の多様な学びの場が減りつつあります。今回の掲載が、教育機関でのキャリア教育指導の一助となれば幸いです。

※ 朝日新聞社発行

「おしごと年鑑」とは

企業と教育機関・家庭を結ぶキャリア教育支援プロジェクト「おしごとはくぶつかん」のひとつ（朝日新聞社 実施）。日本を代表する企業や団体の仕事を紹介し、子どもたちの身近な疑問をわかりやすく解決し、「働くこと」を楽しく学べる教育教材。社会や経済の仕組みを理解し、将来の夢を育むことを目的とし、日本全国の小・中学校のほか、教育委員会等にこの冊子を寄贈しています。

04 明日の大人たちへ…
新たなCSR活動「おはなしの森」

朝日放送テレビ

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な既存の活動が休止や停滞を余儀なくされる中、2020年秋、新たなCSR活動を開始しました。それが、大阪・中之島に2020年7月に開館した文化施設「こども本の森 中之島」において、ABCアナウンサーが子どもたちを対象とした絵本の読み聞かせ（朗読）をする「おはなしの森」です。

「こども本の森」は、子どもたちの素直な眼差しと感受性を大切にする「物語の聖地」をつくることをコンセプトに、建築家・安藤忠雄氏によって設計・寄贈され、京大iPS細胞研究所所長の山中伸弥氏が名誉館長に就任していますが、予定していた館内イベントがなかなか開催できない状況にありました。そこで、同じ中之島エリアに本社があるABCは、地域と連携しながら大阪の文化施設を支援し、未来を担う子どもたちに貢献する取り組みとして、「こども本の森」とパートナーシップ協力を図りながら「おはなしの森」を定期的に開催しています。

放送メディアならではのアナウンサーという独自リソースを活用し、コロナ禍でも持続可能なアウトリーチ型のCSR活動であることが最大の特長で、毎回3人のアナウンサーが出演。「こども本の森」が所蔵する絵本の中から4～5冊を選び、それぞれのキャリアと個性を存分に発揮して、他にはない趣向の楽しい読み聞かせを披露しています。

「おはなしの森」実施概要
日時　2020年10月11日（日）に第1回を実施
　　以降1～2カ月に1回のペースで2021年8月までに7回実施
会場　「こども本の森 中之島」館内の大階段スペース　観覧無料
　　当面は感染防止策としてオンラインでの事前予約制とし、入館は75人に制限

「おはなしの森」HP https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/mori.html

VOICE

こども本の森 中之島
館長 前川千陽

「きょうはエビシーこないの～？」、「『おはなしの森』のために、頑張って予約を取りました！」。そんな声が今、たくさん聞こえてきています。「あ！テレビで見たことある！」という方たちによる読み聞かせは、普段の読み聞かせとは一味違い、楽器を使ったライブ感たっぷりの読み聞かせなど、本当に楽しいものばかり。50人以上の方々が一冊の本を心から楽しんでいる姿は、「こども本の森」の新たな魅力となっています。

「こども本の森 中之島」HP https://kodomohonnomori.osaka/

従業員コメント

ABCテレビ
アナウンサー
桂 紗綾

木の温もりを感じる落ち着いた空間に、1万8,000冊の絵本や児童書。そこで読み聞かせされた本は、その子にとって生涯特別な一冊になるかもしれない。どんな本を選び、どんな風に読むか、自ずと力が入ります。問いかけに即座に反応したり、じっと絵本を見つめたり。マスク越しの笑顔に胸が熱くなりました。想像力という双葉はやがて大きな幹へ成長し、世の中を潤す木々となる。それを育む空想の森に誘い、大切な本に出逢うお手伝いが出来れば、私たちも幸いです。

おはなしの森　THIS IS MECENAT 2021

「おはなしの森」は、公益社団法人企業メセナ協議会が主催するメセナ活動認定制度《This is MECENAT 2021》に認定されています。

阪神淡路大震災の取材映像アーカイブ展開

メディアの社会的責任として2019年度にスタートした、当社保有の震災映像をWEBサイトで公開するグループCSR活動「『阪神淡路大震災』取材映像アーカイブプロジェクト」は2年目に入りました。防災・減災のために持続的に使われることを目指し、活動を展開しました。

- 朝日放送テレビ
- エー・ビー・シーリブラ
- デジアサ

ウェビナー「見る」「聞く」「学ぶ」バーチャルツアー 26年前の被災地を歩く　開催（2021年2月）

アーカイブを使ったZoomイベントでGoogleMap上の阪神淡路地区を訪ねるバーチャル見学ツアーを開催しました。1995年の映像で被災者のリアルな声を聞くとともに、現在のGoogleストリートビュー映像と見比べて復興を体験できるリモートイベントに、全国から200人以上の参加がありました。人との接触が難しいコロナ禍でも実施可能で、バーチャルのメリットを活かした「時空を超える防災啓発の方法」としてニーズが高まっています。

当プロジェクトの受賞について
「2020デジタルアーカイブ産業賞貢献賞」
「第46 回 放送文化基金賞 個人・グループ部門 放送文化」
「2020年日本民間放送連盟賞 特別表彰部門<放送と公共性>優秀賞」各受賞

阪神淡路大震災 激震の記録1995 取材映像アーカイブ
https://www.asahi.co.jp/hanshin_awaji-1995/#

書籍『スマホで見る阪神淡路大震災』を販売 300超の図書館にも収蔵（2020年12月）

地震直後の117の出来事を時系列順に並べ、357個のQRコードでアーカイブ動画にアクセスできるようにした書籍『スマホで見る阪神淡路大震災』を刊行しました。数十年、数百年という地震災害の発生間隔の長さに対応してアーカイブを継続するには、保存に強い紙媒体の「入り口」があったほうがよいとの考えからこの書籍は生まれました。一般販売はもとより、すでに全国300を超える図書館に収蔵され、書籍を通じて、この活動の認知が広がることを期待しています。

関西大学との共同研究「阪神淡路大震災直後に放送したもの」（2021年2月）

26年ものあいだ、本格的に検証されることがなかった阪神淡路大震災発生直後の放送内容を、関西大学社会学部・松山ゼミの学生とともに分析研究し、学生たちがABCグループ内でその結果を発表しました。当時の報道デスク、記者にも取材したうえでの研究結果では、その放送内容の分析はもちろん、日を追うごとに変化していく放送過程などが克明に検証されました。いつ大災害が起きてもおかしくない現在、報道に携わるスタッフ、それ以外の現場の方々、または視聴者の立場など、ABCグループ内それぞれの視点であるべき「災害報道」を考える機会になりました。

05 明日の暮らしへ…
台風、水害、地震…暮らしを襲った災害記録を公開！

- 朝日放送テレビ
- エー・ビー・シーリブラ
- デジアサ

WEBサイト「暮らしを襲った災害の記録 取材映像アーカイブ」を新設（2020年10月）

「『阪神淡路大震災』取材映像アーカイブ」の一般公開プロジェクトは、震災経験者のみならず、震災を経験していない若い世代からの大きな反響をいただきました。阪神淡路大震災の取材映像と同じように、所蔵している近畿地方で起こった自然災害の取材映像を公開する特設災害ポータルサイトを開設しました。必ず起こる台風、水害、地震の映像記録が私たちの暮らしを守る備えとなり、先に立ち上げた「『阪神淡路大震災』取材映像アーカイブ」と同じように、未来の防災・減災に役立つことを目指します。

京大防災研で「『阪神淡路大震災』映像アーカイブ」利活用の研究

京都大学防災研究所から、学校におけるIT授業などで活用できる、最適な映像を選び出す共同研究について、採択を受けました。児童・生徒の心理的負担に配慮し、なおかつ教育効果の高い映像を選び出す2カ年の研究を2021年4月よりスタートしています。
そのほか、学校現場の防災教育プログラム実施連携、サイト英訳による本防災情報の発信範囲拡大、UNDRR（国連防災機関）との連携などを予定しています。

災害の記録 取材映像アーカイブ
https://www.asahi.co.jp/disaster_archive/

VOICE

関西大学社会学部メディア専攻
准教授 松山 秀明

2020年度の私のゼミで共同研究（「阪神淡路大震災 直後に放送したもの」）をさせていただきました。大震災発災から約1週間分のOA映像をお借りし、ゼミ生が「あのときどのような報道があったのか」を調査・分析しました。学生たちは1999年生まれで、阪神淡路大震災を経験していません。生まれる前の災害報道を振りかえることで、大きな発見や気づきがありました。
朝日放送テレビの震災・災害アーカイブ公開は、他局に先駆けたきわめて重要な活動だと思います。テレビ離れが叫ばれる今だからこそ、放送局はアーカイブを使った取り組みが必要だと感じます。これからも継続されることを願っています。

05 明日の暮らしへ…
安全な暮らしの情報発信を実施

エー・ビー・シー開発

エー・ビー・シー開発（ABC開発）が運営する施設「ABCハウジング」や「ハウジング・デザイン・センター（HDC）」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休業を余儀なくされましたが、コロナ禍でも生活者と出展社をつなぐ役割を果たすため、デジタルコンテンツをはじめ様々な方法で情報を発信し続けました。
また、東日本大震災から10年の節目を迎えるにあたり、各種イベント・冊子等を通じて、防災知識や対策が学べる機会を提供し、「命と暮らしを守る情報」も発信しました。
新型コロナウイルス感染症が人々の働き方と暮らし方に大きな影響を与えたことにより、今後さらにライフスタイルの多様化は進んでいくと予想されます。ABC開発では、変化する社会の課題やニーズにいち早く対応し、「安心・安全・快適な暮らし」の実現をサポートすることで事業価値の向上に努めていきます。

事業概要　エー・ビー・シー開発　https://www.abcd.ne.jp/

ABCハウジング

1972年、ABC開発は日本初の住宅展示場事業を朝日放送から承継し、「ABCハウジング」というブランド名で事業活動がスタートしました。現在では、近畿圏・首都圏あわせて23カ所に展開し、良質な戸建住宅の啓蒙普及と、安心安全な住まいづくりの提案を続けています。

ハウジング・デザイン・センター（HDC）

1994年、JR神戸駅前に住まいと暮らしの情報発信複合施設として「HDC神戸」を開設。キッチン、インテリア、リフォームなど約50の住関連のショールーム・ショップを1カ所に集約し、住まいに関する豊富な情報を提供しています。

コロナ禍でのデジタル活用

ホームページ、SNS

コロナ禍でも安心して家づくりや住まいについて学べるコラムや動画をWEB上で公開しました。

WEBコラム「くらしのカタチ」

もしもに備える「おうち防災」のアイデアなど、様々なインフルエンサーによる住まいと暮らしの情報を紹介しました。

「キッズサイエンスフェスタ」（HDC神戸）

新型コロナ対策の企画としてスマートフォンを活用した「非接触型ラリー」を実施しました。

SDGs 情報発信

「住まいの学校2」

「住まい」と「SDGs」のつながりについてのコラムも掲載した、親子で住まいについて学べる冊子を発行しました。

ホームページでSDGsコラム

住まいがサステナブルな社会にどう関わるか、住宅メーカーのSDGsに対する技術や取り組みを紹介しました。

防災情報発信

「防災すごろく＆スタンプゲーム」（HDC神戸）

大きな「防災すごろく」で防災クイズに答えたり、スタンプを集めたり、親子で楽しく学べるイベントを開催しました。

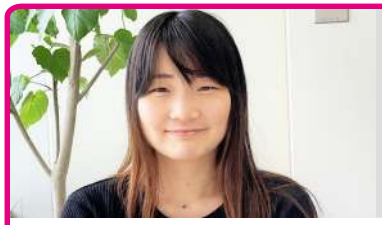
「防災啓蒙イベント」（ABCハウジング・ハウジングワールド立川）

キャンプ道具・食品で持続可能な防災ができるアイデアや地震体験、防災知識の講和などを行いました。

「防災の学校」（HDC神戸）

異常気象対策や地震対策など災害に備えた安全な住まいや暮らしの知識が学べる各種セミナーを開催しました。

その他「ぼうさい本」発行や防災コラムのホームページへの掲載



従業員コメント

abcd
ABC Development Corporation
HDC営業部
髙瀬 翔子

おうち時間が増えた今だからこそ、家庭でできる防災対策について、家族で話し合い、見直す機会になることを意識してイベントを企画しました。今後も暮らしに寄り添うHDCらしい情報発信に挑戦していきたいと思います。

05 明日の暮らしへ…
環境負荷低減への取り組み

環境にやさしい放送局をめざして

- 朝日放送グループホールディングス
- 朝日放送テレビ
- 朝日放送ラジオ

高石送信所における太陽光発電

2013年11月にスタートした大阪府高石市の高石ラジオ送信所の太陽光発電事業は、2020年度で8年目に入りました。
約29,000㎡の敷地に約1万枚の太陽光パネル（発電容量1,990kW）を設置し、発電した電気は関西電力に売電しています。たとえば2020年度は、朝日放送グループホールディングス本社の使用電力の約27.3%を発電しており、クリーンな電力の創出を通じて、環境に配慮し地球にやさしい放送局を目指しています。

参 考 2020年度（4月～3月）実績

太陽光発電電力 **3,273,416kWh** / ABC本社※の使用電力 **11,982,529kWh**

※ABC本社 ・朝日放送グループホールディングス
・朝日放送テレビ本社・朝日放送ラジオ本社

▶▶ 使用電力のうち 約**27.3%**を高石送信所の太陽光発電でまかなった計算になります。

本社屋の年間電力使用量に対するCO_2排出量
= 11,982,529 kWh × 0.318kg − CO_2/kWh ≒ 3,810t − CO_2
高石太陽光発電所の年間発電量に対するCO_2削減量
= 3,273,416kWh × 0.318kg − CO_2/kWh ≒ 1,041t − CO_2（削減）
※算出時「排出係数」は、2019年度「調整後CO_2排出係数 0.318kg-CO_2/kWh」（関西電力）を使用。

高石ラジオ送信所に設置された太陽光パネル

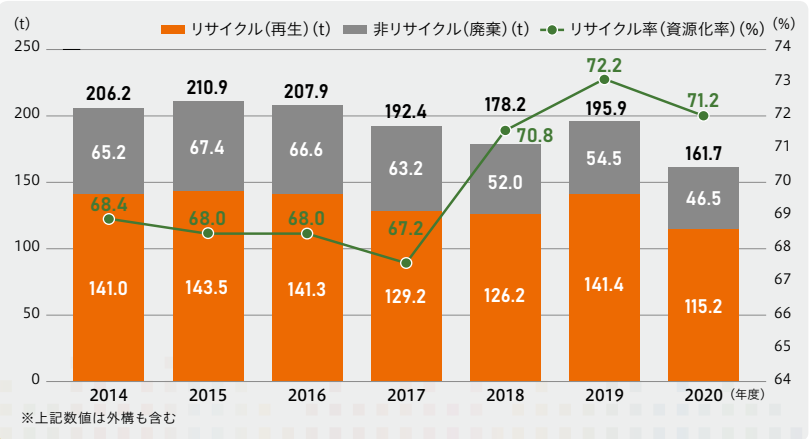
リサイクルの促進

朝日放送グループホールディングスでは、社屋全体（本社ビル・アネックスビル）※で、廃棄物のリサイクル促進に取り組んでおり、2015年度には「廃棄物の減量推進、適正処理を継続的に実施している」として大阪市環境局長表彰を受けています。
また印刷物の適切な発注管理とコピー用紙の使用量の抑制にも取り組み、リサイクル率は2018年度以降70%以上を維持しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響で、リモートワークの導入が進み、廃棄物量が減少しています。

※朝日放送グループホールディングス、
朝日放送テレビ本社、朝日放送ラジオ本社

社屋に設置されたリサイクルボックスで、廃棄物を分別

廃棄物量の推移（本社ビル、アネックスビル※）



※上記数値は外構も含む

グループ会社の取り組み

ABCハウジングの太陽光発電

abcd
ABC Development Corporation

グループ会社のエー・ビー・シー開発も、自社で太陽光発電システムを導入しています。ハウジング事業を担う総合住宅展示場「ABCハウジング」の近畿圏16の展示場のうち、10会場のセンターハウスの屋根に太陽光発電パネルを搭載し、自然エネルギーの使用を促進しています。発電された電力は、各展示場のセンターハウス等で使用しています。10会場の2020年度の発電量は58,732kwhでした。

センターハウスの屋根に設置された太陽光パネル

05 明日の暮らしへ…
環境のその他の取り組み

ABCインターナショナル
（現 ABCフロンティア）

環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結！

朝日放送グループの海外関連事業を担うABCインターナショナル※1は、2021年3月、民放在京局・在阪局のグループ会社としては初となる「国立公園オフィシャルパートナーシップ」※2を環境省と締結しました。
ABC インターナショナルは、2016年の設立以降、海外向けテレビ番組やプロモーション映像制作などを行う中で、多数の国立公園で撮影を実施し、情報発信を行っています。2020年度も、日光国立公園内に位置する栃木県・那須エリアにおけるハイキングツーリズムの魅力を英国に発信。また、奄美群島国立公園内に位置する奄美6島を巡るオンラインツアーの映像を制作するなど、“コロナ禍”においても、国内外に向けた国立公園の魅力発信を続けています。

2021年3月1日、ABCインターナショナル代表取締役と小泉進次郎環境大臣によるオンライン締結式

日光国立公園内・那須岳におけるハイキングツーリズムの魅力を伝えた「YAMA –Experience Great Hikes in Japan」撮影現場

※1　ABCインターナショナル：
2021年4月1日付けでABCフロンティアホールディングスに再編合併。

※2　国立公園オフィシャルパートナーシップ：
環境省と企業または団体が相互に協力し、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの利用者の拡大を図ることで、人々の自然環境保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげるためのパートナーシッププログラム。

従業員コメント

ABC FRONTIER
ABCインターナショナル
代表取締役社長（2020年度時）
（現ABCフロンティア取締役）
半田 俊介

映像コンテンツができることは数多くあると考えています。国立公園オフィシャルパートナーの皆さんとも連携しながら、より一層、国立公園の魅力を伝えていきたいと思います。

環境省 国立公園満喫プロジェクト
http://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/

ABCフロンティア
https://abc-frontier.co.jp/

朝日放送グループ環境方針（2020年9月）

“地球環境”と“人の営み”

これらはともに密接に関係しあって、同じ地球上に息づいています。だからこそ、地球上の人もそれ以外の生物も共に命を大切にしていきたい。
その実現のため「今、どんな暮らしや考え方が必要とされているのか？」私たちは、多くの人たちと共に考え、情報を発信し、自ら行動していきます。
とりわけ、いま頻発するさまざまな自然災害への対応を最優先とし、「命と暮らしを守る情報を届ける取り組み」を推進していくことを約束します。

1. 環境保全に関する法規を遵守するとともに、持続可能エネルギーの有効利用、エネルギー消費の抑制、廃棄物の減量化やリサイクルなどを推進し、当社グループの事業活動によって生じる環境負荷の低減を図ります。
2. かけがえのない地球環境を次の世代を担う子ども達に残していくため、当社グループが制作する番組や開催するイベントなどを通じて、地球環境の課題についての問題提起や啓発活動を行います。
3. 地球環境の変化などにより頻発する自然災害に対して、防災・減災に役立つ情報伝達を、放送などのメディアを通じて、適時、適切、確実に実施します。
4. グループ従業員の環境問題に対する意識を高め、地域社会とともに、地球環境保全に寄与する活動に取り組みます。

コロナ禍の文化芸術活動を支援!

～ＡＢＣリブラが浪曲イベントをライブ配信～

エー・ビー・シーリブラ

大阪の文化を止めるな！ 浪曲イベントをライブ配信しました

1回目の緊急事態宣言期間後の2020年6月20日、大阪・玉造で開催した浪曲イベントの模様を、エー・ビー・シーリブラ（ABCリブラ）がライブ配信しました。コロナ禍で表現の場を失った芸術や文化活動を支援する生配信事業は、その後、グループ内で様々な広がりを見せました。

日時　2020年6月20日（土）
形式　有料ライブ配信、事後アーカイブ配信
1部「玉川太福・真山隼人二人会」
2部「浪曲若手大集合見本市」
会場：百年長屋（大阪市 玉造）

劇場や芸人さんに活動の場を提供できる、「配信」事業の可能性が広がりました

浪曲イベントのライブ配信の後も、ABCリブラではグループ各社と連携し配信事業に取り組みました。芸術文化を創造する方々に「場」を提供できたこと、配信のノウハウを持たない方々のお手伝いができたこと、それにより、ABCリブラが「配信」という新事業に関する知見を得られたことなど、感染症は、期せずして、事業の拡大や今後の可能性を生み出しています。

ライブ配信
8月1日　「山田雅人の『かたりの世界』オンライン」（ABCラジオ）
8月8日　落語イベント「1周年記念 令和亭寄席」
8月29日「大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる室内楽の愉しみ オンライン」2度の生配信
12月4日「おはパソ ラララオーケストラ Xmasコンサート」（ABCラジオ）
「おはようパーソナリティー道上洋三です」有観客イベント ▶P28を参照
12月　「art KYOTO2020」オープニング/早乙女太一舞踊劇「乱舞」配信収録（MASH）

従業員コメント
ABCリブラ 制作部
春名 雄児

「大阪の文化を止めるわけにはいかない！」熱い思いで制作しました。「ライブ配信といえば、ABCリブラ」と言われるよう質の高い配信を目指します。

従業員コメント
ABCリブラ
ライブラリー部
阪田 裕規

ABCといえば「おはよう浪曲」（ABCラジオ）を45年間も放送し続けた放送局です。また、1975年に始まったテレビ版「おはよう浪曲」の番組終了が一旦決まったときも、当時の社長（原 清）が「放送局の社会貢献の責任は重い」と放送継続を決断し、その歴史を浪曲師や浪曲ファンは忘れていません。「大阪文化のピンチをチャンスに変える！」そんな志を持って今回の配信に挑みました。

ABCリブラ
http://www.abclibra.co.jp/

06 明日の文化へ…
人形浄瑠璃 文楽の上演配信プロジェクト

～浪曲の配信がきっかけで～

朝日放送テレビ
朝日放送ラジオ

桂りょうば

THIS IS MECENAT 2020

「ABCラジオ 上方落語をきく会」は、公益社団法人企業メセナ協議会が主催するメセナ活動認定制度《This is MECENAT 2020》に認定されています。

苦境の芸術家や文化施設を支援する動きにさらなる広がり

2020年3月以降、大阪の国立文楽劇場をはじめとする文楽公演は「中止」を余儀なくされ、それは半年近くも続いていました。そこで、ABCホールを運営する当社が「大阪文化芸術創出事業（活動支援）補助金」交付を申請し企画したのが「人形浄瑠璃 文楽 無観客上演配信プロジェクト」です。
太夫の語りと三味線に合わせ人形が生々しく人の生き様を演じる文楽は、ユネスコの無形文化遺産にも登録されている大阪が世界に誇る伝統芸能。ABCホールで無観客上演配信して大勢の人々に文楽の魅力を伝えました。映像字幕、作品紹介ビデオ、アイネックスの技術を駆使したバーチャル・リアリティ作成など、文楽をわかりやすく楽しむ工夫を行いました。

人形浄瑠璃 文楽 無観客上演配信プロジェクト
7月30日収録、8月19日配信開始 ～現在も配信中、撮影収録の舞台　ABCホール

https://www.asahi.co.jp/event/bunraku2020/

VOICE

人形遣い
吉田玉助

これからどうなるのかというとき、私も何か出来たらと思っていたので、「これはするしかない！」と。太夫、三味線、人形の三業が一緒の舞台に立てる喜び、感無量でした。バーチャル・リアリティ版も撮影し、時代は進化していると感じました。「文楽」も伝統を守っていくだけでなく、新しいことも両立していくのが時代の流れと考えさせられた公演でした。

「ABCラジオ 上方落語をきく会」～有観客の笑いでつないだ 119 回目の伝統～

昭和30年12月に旗揚げをして以来、毎年開催しているABCラジオ主催の伝統の落語会。2020年度は、1月30日、なお感染状況が厳しい中でも「決して伝統の灯を消してはならない」との強い思いで、芸能の檜舞台「国立文楽劇場」において昼夜2部構成で開催されました。感染症対策には万全を期し、計575人が来場。上方落語では最も歴史ある落語会を有観客の笑いでつなぐ公演となりました。
今後も、どんな困難な時代でも「笑い」で文化や健やかな暮らしを支えていきます。

第119回 ABCラジオ 上方落語をきく会
2021年1月30日
国立文楽劇場（大阪市中央区）　当日の模様はABCラジオで生中継。
有観客　座席は左右の間隔を空けて販売。同行者でも間隔を空けて着座。
出演　桂りょうばが父・枝雀も経験した三席すべてネタ下ろし「しごきの会」挑戦。ほか

06 明日の文化へ…
すべての人が「来て良かった」と思えるゴルフ場に

2019全英女子オープンの渋野日向子選手、2021マスターズの松山英樹選手といった日本人選手の活躍でゴルフへの注目が高まっています。
2020年初頭からのコロナ禍によって、春の来場者は極端に減少しましたが、「密を回避できるアクティビティ」として、それまではやや減少傾向にあったゴルファーの数が上向きに転じ、夏以降は前の年を上回る勢いでした。
そうした来場者に安心して過ごしていただくために、様々な感染症対策を実施し、現在も継続しています。来場いただいた方にとってはもちろん、働くすべてのスタッフが安心して過ごせる環境を整えるのが、ゴルフ場を経営していくうえで最も重要なことと考えています。これからも、様々な感染症対策を実施し、「スポーツ健康文化の維持」のため取り組んでいきます。

ABCゴルフ倶楽部クラブハウス

ABCゴルフ倶楽部18番ホール

クラブハウスでは、受付やレストランではアクリル板を設置。アルコール消毒やCO_2の測定によって換気状況をチェックし、感染防止対策を徹底。

感染症の発生と対応、「スポーツ健康文化の維持」のために

ABCゴルフ倶楽部

ABCゴルフ倶楽部は、2021年6月、新たに「経営理念」を策定しました。「私たちはゴルフを通じて、すべての人たちに笑顔を届けます」と掲げています。これは、コロナ対策と同様、ゴルファーのみならず、働くスタッフや周辺環境も含んでいます。
今後は、さらに具体的な取り組みも開始します。たとえば、緊急時の対応をブラッシュアップする「AED講習」を実施、環境に配慮した脱プラスチックの観点から脱衣場で無料配布していたビニール袋を、2021年9月末で撤廃します。無論、最高のコースコンディションを整えることも忘れてはいません。コースをメンテナンスするスタッフは、雨の日も風の日も芝生と向き合っています。すべては、「ABCゴルフ倶楽部に来て良かった、と感じていただけるように」との想いが基点になっています。そうした想いが、やがてはゴルフのすそ野を広げ、スポーツ健康文化の発展につながっていくと信じています。

ABCゴルフ倶楽部経営理念 https://abc-golf.co.jp/philosophy.html

ABCゴルフ倶楽部
代表取締役社長
岡村 清司

従業員コメント | ABC GOLF CLUB 感染症対策でどうコロナと向き合ったか

フロント部門 田渕 美幸

感染症対策は当初、戸惑いの連続でした。マスク着用に始まり、現在では非接触検温や抗菌ボールペンの導入などと目まぐるしく状況は変化しています。また緊急事態宣言などが出る度にお客様へのご案内が更新されますが、皆さまに安心してご来場いただけるようにしっかりご対応いたします。

キャディ部門 松山 由美子

検温や待機室の除菌作業を日々実施しています。業務中はマスクを着用していますが、熱中症対策として空調服を支給していただき大変感謝しております。またソーシャルディスタンスを保ち、クラブの受け渡しなどの際はお客様と正対することを避けていますが、そのことがサービス低下とならないよう心がけております。

レストラン部門 藤原 裕子

テレビなどのメディアで飲食店での感染拡大が報道されるようになり、レストラン部門でも日を追うごとに感染症対策に緊張感が増していきました。密を避けるテーブル配置やアクリル板の設置はもちろん利用後のアルコール除菌など、できることは確実に行い、多くのお客様に笑顔でご利用いただきたいと思います。

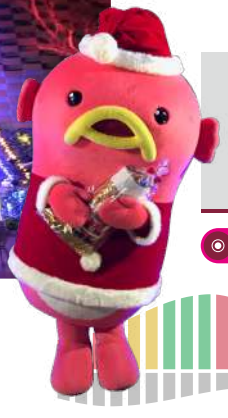
06 明日の文化へ…
地域社会の一員として

- 朝日放送テレビ
- アイネックス
- エー・ビー・シー興産

「中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会」での活動について

水辺の街がきらめく光で彩られる、年末恒例の「冬ものがたり」。ABC本社周辺の中之島・西エリアの各企業が連携・協働する中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会（朝日放送グループホールディングス加盟）が主催するイベントは、2020年に9年目を迎えました（「冬ものがたり」基本期間11月26日～12月25日）。
コロナ禍での人と人とのふれあいやつながりの大切さを表現するため、「笑顔」をテーマにしたメインプログラム「スマイルアートプロジェクト “ひかりの実”」では、事前に大阪・福島区内の４つの保育園や認定こども園を訪問し、ワークショップを開催。「冬ものがたり」期間中、ほたるまち周辺の木々や植え込みには、果実を包む袋ひとつひとつに子どもたちや近隣のオフィスワーカーなど総勢１万人が思い思いのスマイルを描いた「ひかりの実」が灯りました。
ABCリバーデッキ会場では、ABCグループ独自の「ABC☆きらきら☆クリスマス」を15日間にわたり開催。社屋の壁面を大スクリーンに見立て、ABCテレビ報道局が保存する膨大なアーカイブ映像の中から関西の四季折々の原風景を厳選して編集し、音楽と光が季節ごとに変化する演出を施した映像作品を披露しました。サクラ、打ち上げ花火、夏祭り、神戸ルミナリエなど、コロナ禍で目にすることができなかった「春夏秋冬」の美しい風景を通じ、「来たる年こそは、このいつもどおりの風景が自由に楽しめる日常が取り戻せますように…」そんな願いを込めました。水辺の街を華やかに彩り、街ゆく人たちにひとときの安らぎをご提供したいと企画し、地元の皆さまからも好評をいただきました。

「笑顔」をテーマにしたメインプログラム「スマイルアートプロジェクト “ひかりの実”」



中之島ウエスト・冬ものがたり2020『ABC☆きらきら☆クリスマス』

https://www.asahi.co.jp/riverdeck/

中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会
中之島2丁目～6丁目・福島1丁目～2丁目および周辺の企業を対象として、エリアの個性化や魅力向上とともに、このエリアの新たなファンづくりを目指した協働プロモーション活動を行う情報連絡会。
朝日放送グループホールディングスは、周辺企業やオブザーバーの皆さんと戦略的な情報交換を行い、地域文化の盛り上げや支援を行う「エリアCSR活動」を続けています。

http://nakanoshima-west.jp/

07 基本となるCSRの取り組み

多様なステークホルダーに等しく情報を発信していくために 字幕・解説・手話放送

朝日放送テレビ

多様な人々にテレビ放送を楽しんでいただくために

朝日放送テレビは、多様な人たちにテレビ番組をより楽しんでいただけるよう字幕放送・解説放送・手話放送などのユニバーサル放送の充実に努めてきました。字幕放送とは、出演者のトークやセリフ、ナレーションを文字や記号にして、画面にわかりやすく表示するもので、耳の不自由な方や高齢者の皆さまにご好評をいただいています。解説放送とは、ナレーターが情景描写や出演者の表情など番組内容をわかりやすく説明して、副音声でお届けするものです。目の不自由な方にもテレビ番組を楽しんでいただけるよう、バラエティやドラマなどで、この解説放送を実施しています。

解説放送作成作業

「字幕・解説・手話放送」一覧

https://www.asahi.co.jp/info/rule/subtitles.html

これまでの字幕放送・解説放送のあゆみ

1995年に字幕放送をスタート。徐々に番組数を増やし、2018年度には総務省が定める指針の普及目標である100%を達成いたしました。現在、午前7時から午前0時までのバラエティやドラマ、アニメなど、すべての番組に字幕を付与しています。2008年からはニュースやスポーツ中継といった生放送番組でも、リアルタイムに字幕放送を実施し、その番組数を拡充しています。
2009年には解説放送をスタート。2019年度には総務省が定める指針の対象放送時間に占める解説放送番組の割合は18.9%となり、2027年度の行政目標である15%を前倒しで達成しています。

新たなユニバーサルサービスに向かって

2019年からは、公益社団法人大阪聴力障害者協会様に協力をいただきながらレギュラーでの手話放送もスタートしました。今後も地域の手話通訳者士の方々と連携しながら、手話放送の拡充に努めていきます。朝日放送テレビは、NHKと民放連が開催している視聴覚障害者向け放送に関する意見交換会に参加し、障害者団体との情報交換の成果を制作現場にフィードバックすることで、より視聴者ニーズに応じた字幕放送や解説放送の番組づくりに活かしています。また、グループ企業と連携しながらAI技術を援用した新しい生字幕システムの開発にも取り組んでいます。

「マンスリーABC」より

手話放送実績

ABCテレビ

ABCテレビ制作の広報番組
「マンスリーABC」
（毎月最終土曜日 5:08～5:20）

- 2018年度 … 1回
- 2019年度 … 6回
- 2020年度 … 4回
- 2021年度 … 4回

07 基本となるCSRの取り組み
グループ全体でCSR意識を醸成

朝日放送グループホールディングス

2021年 グループ新年祝詞会

「仕事初め」の2021年1月5日、「2021年朝日放送グループ新年祝詞会」を開催しました。2020年春から続くコロナ禍のため、パーティー形式からオンライン形式に変更し、グループ各社をつなぎました。オンラインの形式での開催はグループ会社のマッシュとアイネックスが開発した「ヴァーチャルカンファレンス」を採用。各社の従業員はその模様を館内で共聴およびGoogle Meetなどで視聴しました。
祝詞会では、沖中ホールディングス社長と山本テレビ社社長は挨拶の後、グループ各社をバーチャル上で訪問したり、従業員、スタッフは各社の「今年のやじるし」と題した新年の抱負ビデオをリモート視聴したりしました。慣例行事のあり方が変更を余儀なくされるウィズコロナの時世に、新たなグループ連携で生み出したイノベーションでこれまで以上に拡大するグループ各社の結束を確かめたことを、全従業員で共有することができました。
当社グループのCSR意識の土台作りにもつながる今後の社内コミュニケーションや従業員エンゲージメント、グループ間シナジーのあり方と可能性を拓くイベントとなりました。

2021年祝詞会

第一回グループガバナンス経営研修会

新型コロナウイルス感染症の発生によって、企業の社会課題への対応力や事業の持続性がますます重要視され、また機関投資家のESG投資やサステナビリティ視点での判断も厳しくなっている中、当社グループの社会での役割について経営者と幹部相互で共有する講演＆ディスカッションによる研修会を開催しました。
講師に多数の企業事例に詳しい細田悦弘氏を迎え、CSR、CSV、ESG、SDGsなどを入り口にした関連情報の平仄合わせをはじめ、メディアの使命感と社会的責任や持続的成長につながる経営についての研修会を実施しました。

期日 9月23日(水)午前
会場 当社会議室での講演にリアル参加＆リモート生配信ハイブリッド対応
参加 役員/各社社長/局室長約40名参加
講師 中央大学大学院戦略経営研究科フェロー 細田悦弘 氏

第一回グループガバナンス経営研修会

第二回グループ CSR 勉強会

第一回グループガバナンス経営研修会と同日の2020年9月23日、「『先進のCSR』でつかむ！時代が求める企業競争力～アフターコロナも輝き続けるために～」と題して、中央大学大学院戦略経営研究科フェローの細田悦弘氏によるCSR勉強会の第二弾を開催しました。対象はグループ一般従業員から経営層で、感染症リスクにも配慮し、ABCホールでの講演とリモートによる初のグループ同時生配信で実施しました。初めて開催の2019年と比較し、2倍になる約150人が参加しました。
CSR関連ワードの確認やコロナ禍の社会課題に対応したCSR推進のあり方などの基本事項と、今後の事業への展望などCSRやSDGs、サステナビリティに関する総合的な勉強会で、グループ従業員と各社各員の意識醸成と今後の推進活動への土台強化を図りました。

VOICE 第二回CSR勉強会 参加者の声

第二回グループCSR勉強会

- ●CSV、ESG投資など社会の課題解決につながるビジネス展開のヒントを系統立ててレクチャーして下さり頭の整理にとても有効でした
- ●CSRに関するバックデータの紹介を超え、『将来志向』かつ具体的な目標にも言及し、当社が目指すべき理念・方向が明確になりました
- ●コロナ禍の今だからこそ、社会や環境の課題解決に資するビジネスを目指す『非財務的な企業価値の向上』という視点がいかに大切か、今回の講演で再認識できました

07 基本となるCSRの取り組み
グループ各社の取り組み

朝日放送グループ

途上国の子どもたちへ学校給食を「TABLE FOR TWO」で支援

「TABLE FOR TWO」とは、開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む日本発の社会貢献運動です。特定非営利活動法人「TABLE FOR TWO International」がプログラム運営を行っており、朝日放送グループでは、2019年2月から参加しています。「TABLE FOR TWO」を通じて、①開発途上国の子どもの学校給食になり飢餓・貧困の解消の一助に。②私たちの生活習慣病などの解消の一助に。つまり、1卓の食事で①と②のTWOにつながっています。2020年2月～2021年1月の1年間で456食、9,120円を寄付しました。
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、食堂も営業を一部縮小するなどの影響を受けましたが、今後もこのプログラムへ参加し、貢献を続けていきます。

ABC本社10階食堂にて、2019年2月7日(木)開始。
原則毎週木曜日に実施。「ヘルシー弁当」(木曜のみ通常価格より20円UP)を注文すると、1食につき「20円」が寄付される仕組み。

TABLE FOR TWO
特定非営利活動法人「TABLE FOR TWO International」
https://jp.tablefor2.org/

朝日放送ラジオ

六甲おろしがつないだクリスマスコンサートで、医学生の育成支援

「おはようパーソナリティ道上洋三です」では、コロナ禍のもと、発表の場を失くしたプロの演奏者に六甲おろしを奏でてもらい、その輪を拡げていく「六甲おろし数珠つなぎ」企画を、2020年春に実施しました。
実施後、リスナーからの「生の音を聴きたい！」という熱い要望により、12月に住友生命いずみホールにて、数珠つなぎメンバーで結成した「おはパソ ラララ オーケストラ」で クリスマスコンサートを開催しました。番組オープニング曲のクラリネットポルカ、アレンジの違う六甲おろし3曲を含め圧巻の18曲、110分をお届けしました。
入場料・配信で得られた収益の一部を新型コロナウイルス感染症によって学ぶ場を制限されてしまった医学部学生育成のため大阪大学医学部に寄附しました。

2020年12月14日
住友生命いずみホール

エー・ビー・シー開発

「京都大学 iPS 細胞研究基金」への支援

エー・ビー・シー開発は、「豊かな暮らしを共に描き 笑顔あふれる未来を創る」という基本理念を念頭に、複合ライフスタイル情報発信企業として、持続可能な社会実現のために地球環境保全や社会貢献活動にも取り組んでいます。
2015年からは、京都大学iPS細胞研究所の「iPS細胞研究基金」の趣旨に賛同し、毎年の寄付を通じて同研究と関係する医療従事者への支援を行っています。

「CSR活動便り」の配信で従業員の意識を向上

エー・ビー・シー開発では、半期に一度、各部門にCSRにつながる活動をヒアリングし、その内容をまとめて社内に「CSR活動便り」として配信しています。会社全体としての活動内容を共有することで、従業員の理解を深め、意識を高められるよう努めています。

07 基本となるCSRの取り組み
グループ各社の取り組み

- 朝日放送グループホールディングス
- 朝日放送テレビ
- 朝日放送ラジオ

定期的な情報セキュリティ研修の実施

スマホやWEBサービスの普及、テレワークの導入などにより、ユーザーの利便性は向上する一方で、デジタルツールの不適切な利用やセキュリティ意識の低さにより、情報漏洩の発生リスクは非常に高まっています。DX・メディアデザイン局主催で、従業員に向けて定期的に情報セキュリティ研修を実施しています。

実施期間	2021年6月開始
受講対象	朝日放送テレビ、朝日放送ラジオ、朝日放送グループホールディングスの全従業員
研修方式	e-ラーニング
研修内容	第一回テーマ:「標的型サイバー攻撃…特定の企業や人から機密情報を抜き取る攻撃」

グループ会社一覧 （2021年9月末現在）

朝日放送テレビ(株)
テレビ放送事業

(株)ＡＢＣアーク
出版、ＳＮＳ、ＷＥＢ等メディア運営、各種催物の企画およびマーケティング

朝日放送ラジオ(株)
ラジオ放送事業

(株)スカイA
CS放送事業

(株)エー・ビー・シーリブラ
テレビ番組企画・制作、映像の保存・管理

(株)ABCフロンティア
ライセンス事業、音楽出版事業、国際事業、事業開発

ABC&SET(株)
演劇等の企画・制作・請負・興行、各種イベントの企画・制作

(株)ABCアニメーション
アニメコンテンツの企画・製作、海外販売、物販など

(株)デジアサ
デジタルコンテンツ制作、字幕制作

(株)アイネックス
総合技術プロダクション

(株)マッシュ
イベント企画・制作、プロモーション

(株)ディー・エル・イー
ファスト・エンターテインメント事業

ちゅらっぷす(株)
ゲームコンテンツ企画/開発/運営

AMIDUS.(株)
事業開発支援、マーケティングソリューション

プロセンスタジオ(株)
ポスト・プロダクション、音響制作

(株)SILVER LINK.
テレビ・ビデオ等、アニメーション作品の企画製作・制作

(株)ベスティ
スポーツコンテンツの企画・制作・コンサルティング

エー・ビー・シー開発(株)
住宅展示場の企画・運営、ハウジング・デザイン・センターの企画・運営、保険代理業、広告代理業、不動産事業

ハウジングサポート(株)
エー・ビー・シー開発(株)が主催する住宅展示場「ABCハウジング住宅公園」の運営管理業務及び労働者派遣事業

(株)ABCゴルフ倶楽部
ゴルフ場運営

(株)エー・ビー・シーメディアコム
通信販売業務、ラジオ番組制作、音源・楽曲制作、代理店業務

(株)ONE DAY DESIGN
通信販売事業、地域創生事業、スタートアップ企業のグロース支援事業、ブランドプロデュース事業

(株)ABC Glamp&Outdoors
グランピングを中核とした地域共創・エリア開発プロデュース

ABCドリームベンチャーズ(株)
コーポレートベンチャーキャピタルの運営

ABC HORIZON PTE. LTD.
海外での新規事業開発及びビジネス調査・サポート

(株)エー・ビー・シー興産
警備保安業務・施設管理業務